

「かかりつけ」で安心 健康を支える薬剤師

OTC医薬品とセルフケア 薬局・薬剤師の役割

SHELLY 病院で診察を受ける、普段は近くにある薬局に処方箋をその都度持ち込んで薬を出してもらいます。特定の薬局や薬剤師をかかりつけにする利点はありますか。

岩月 薬剤師の仕事は薬の説明だけでなく、その薬が患者さんに合っているかどうか確認することです。服用中の薬や食生活などの情報を把握している薬剤師がいれば、飲み合わせや副作用のリスクを避けることができます。

SHELLY 多忙な薬剤師に相談するのは申し訳なさや気恥しさがあります。

岩月 遠慮する必要はありませんよ。薬剤師には説明義務があり、相談したからといって費用負担が増えるわけではありません。また、処方箋なしで買えるOTC医薬品のうち処方箋薬から移行して間もない「要指導医薬品」の一部は、薬剤師による対面での情報提供や指導が義務付けられています。オンライン全盛の時代ですが、対面で購入する方の表情を見

薬との付き合い方 対面確認で安全性を担保

SHELLY 決められた用法・用量を超えて薬を大量服用する「オーバードーズ」が社会問題化しています。薬剤師はこれにどう対処していますか。

岩月 オーバードーズは単なる薬の問題ではなく、悩みや孤立感の表れでもあります。販売を制限するだけではなく、「なぜそうなったのか」を聞き取り、支援につなげることが大切です。



この点でも薬局は、地域の相談窓口として機能しています。

被災地への薬剤師や専用車両の派遣も

SHELLY 7月に熊本県を中心とした大地震がありました。薬局や薬剤師は災害時にどんな役割を果たしますか。

岩月 まず、地域の薬局が可能な限り通常の機能を維持できるように支援します。その上で、被災地に薬剤師を派遣したり、調剤機能を備えた「モバイルファーマシー」と呼ばれる災害対応医薬品供給車両を出動させたりします。つまり、平時のサービスをできるだけ維持しつつ、不足分を外部から補う体制を整備しています。

SHELLY 健康増進支援薬局のような「病気になる前から相談できる場所がある」ことをもっとPRしてほしいです。相談のために訪れてよい場所だと分かれば、利用者



日本薬剤師会
岩月 進 会長

いわつき・すすむ／1978年、名城大学薬学部を卒業後、塩野義製薬に入社。81年、愛知県刈谷市にヨシケン岩月薬局を開設。2004～10年、20～24年に日本薬剤師会常務理事を務め、24年6月、第26代日本薬剤師会会長に就任。

タレント
SHELLY さん

シェリー／バラエティ・情報番組などに出演するほか、MCとしても活躍。三人の娘の母。2020年末よりYouTube「SHELLYのお風呂場」で性教育を中心とした情報を発信。現在は日本で活動しつつ、家族とオーストラリアで生活。

医師らと連携、予防・治療を担う健康増進支援薬局



SHELLY 健康増進支援薬局のような「病気になる前から相談できる場所がある」ことをもっとPRしてほしいです。相談のために訪れてよい場所だと分かれば、利用者

公益社団法人
日本薬剤師会
Japan Pharmaceutical Association

47都道府県薬剤師会の会員をもって組織する職能団体です。「薬剤師の倫理高揚と学術振興に努め、薬学・薬業の発展を通じて、国民の健康な生活の確保・向上に寄与すること」を目的に、薬剤師の生涯学習、医薬品適正使用の推進など、幅広い活動・提言を行っています。

広告 企画・制作／毎日新聞社営業総本部

3つの安心で守る。



1 薬を正しく使う安心
薬を渡すだけでなく、薬歴を確認し、使い方や注意点を丁寧に伝えるのも薬剤師の役割です。



2 市販薬選びの安心
市販薬選びの相談も薬剤師へ。体調に合った最適な薬を提案し、セルフケア・セルフメディケーションに寄り添います。



3 体調の相談ができる安心
生活習慣や健康不安の相談も。地域の皆様の健康を支えます。